

日本物理教育学会／2025年度第4回理事会 議事録 Web 版

日 時： 2026年4月12日(日) 14:00～17:30

場 所： Zoom によるオンライン会議

出席 席：新田英雄（会長），井上賢（副会長），

小川慎二郎（総務），長谷川大和（総務），西村壘太（編集），長谷川誠（編集・北海道），

植松晴子（財務），秋山綱紀（電子），梅田貴士（電子・中四国），内山哲治（東北），林正人（近畿），

落合道夫（九州），今井章人（編集 G），村田律子（総務 G），酒谷貴史（次世代形成）

湯口秀敏（監事），大山光晴（監事），喜多誠（事務局長）

※日本物理教育学会賞選考委員会 伊土政幸(報告・オブザーバー)

欠席 席： 右近修治（副会長），今和泉卓也（財務），麩沢祐一（新潟），

議事作成：総務理事

議 事：

(1) 2025年度第3回理事会議事録／第3回議事録 web 版の確認（資料 01-1～01-2）

総務理事から議事録の案が事前に提示され、承認された。

(2) 代議員総会議案書の確認（資料 02-1～02-3）：総務理事

総務理事から、4年と2年の任期の異なる代議員の選挙について、選挙管理委員会の設置、選挙の方法、開票の方法について説明があり、了承した。

議案書の案が提示され、総務理事から「支部研究会」という記述について「地域での研究会」と変更する提案があり、了承した。なお、新潟支部については引き続き支部からの連絡を待つこととした。財務理事から、昨年度の法人化後の収支決算についての説明があった。今年度の予算の説明の中で事務局費について、法人化に伴う人件費の増加、事務局長の研究大会参加旅費の設置、刊行費の増額についての説明があり、了承した。

議案書は会誌の入稿（5月1日）に間に合うように決定する必要があることから、今後細部を調整・確認して入稿することとした。

(3) 研究大会の準備状況（資料 03-1）

① 2026年度中国四国大会について：中国四国支部長

中国四国支部長から以下の項目に基づく運営案が示され、了解した。

日程：2026年8月10日（月），11日（火）

前日9日（日）の午後 代議員会・支部代表者会議および役員懇談会

会場 岡山大学津島キャンパス

特別講演に代わるパネル討論を開催することについての説明があった。

② 2027年度北海道大会について（資料 03-2）北海道支部長

総務理事から、これまでの研究大会の流れについて説明があり、次回は北海道での開催であることが提案され、了承された。

北海道支部長から、この決定をもって支部で企画の検討を開始する旨の説明があり、北海道科学大学を会場に予定していることが報告された。今年度の大会において、実行委員会組織、会場、日程など

について、より詳しい情報を提供することとした。

北海道支部長から、会期を2日のままとするか3日に拡大するかについての質問があり、会長から検討会で議論を進めることが提案され了承した。

(4) 学会賞選考結果(資料04):総務理事、学会賞選考委員長

総務理事から選考結果が報告され、以下の受賞を承認した。

日本物理教育学会賞:該当なし

日本物理教育学会奨励賞:渡會兼也氏

会長から、今年度から学会賞選考委員長が交代することが報告された。

(5) 2026年度の理事・監事案について(資料05-1~05-3):総務理事

総務理事から、代議員会で提案される予定の理事・監事について、広報担当として総務理事を増員すること、編集理事を増員することについて、その他、任期を延長して担当していただく方がいることについて説明があり、了解を得た。

また、細則の改訂について案が提示され、承認を得た。井上副会長から改訂日の記載方法についての確認があり、改訂ごとに記載することとした。

(6) 科研費「研究成果公開促進費(研究成果公開発表(B))」の応募について:会長

会長から、サイエンスフェスタに関する科研費が2年連続不採用となったことについて報告があった。「研究成果の公開」についての捉え方の厳格化についての説明があり、学会として科研費に応募する企画を検討する必要があることを確認した。科研費応募の締切りの関係から、次回の理事会に応募の方針を決定する必要があるため、応募の企画がある場合は次回理事会に提案することとした。

(7) J-Stageについて(資料07-1, 資料07-2, 資料07-3):編集理事

編集理事から、以下の点について中長期的に検討するための意見募集があった。

- ・会誌の購読者認証について、J-Stageの標準が12ヶ月であることが説明され、会誌の「オープンアクセス化」か「12ヶ月制限」を進めるかどうか
- ・全文HTML公開を進めるかどうか
- ・supplemental materialにアクセスできるようJ-Stage Dataの利用を進めるかどうか

会長から、会員の特典との関係、必要経費との比較を明らかにしながら編集理事を中心に編集幹事会・委員会等で検討を継続した上で、理事会に再提案してほしい旨の依頼があった。

また、編集理事から、JsStageサイトの「概要説明」の必要性やバナーへのリンク設定、My J-Stageの利用、Xアカウントへのリンクについての提案があり、それらの動きについて了承し、内容については編集グループの判断に委ねることとした。

(その他1) GIREPへの代表参加について

会長から、ギリシャ・クレタ島で7月6日から10日まで開催される大会への学会代表としての参加者についての提案があり、会長が直接参加予定者に依頼することとした。

(その他2) 寄付申込書の整備について

総務理事から申込書の原案が示され、いくつかの点について修正した後運用することが承認された。

報 告 :

(8) 常務理事より

- ・編集 (資料 08-1~08-3)

編集理事から会誌編集、編集計画、編集体制、J-Stage についての計画について報告があった。

(9) 各委員会・WG からの年度報告

各委員長から以下のとおり報告があった。

- ・ニューズレター編集委員会

委員長から、ニューズレターの発行についての周知があった。また「科学をどう教えるか」が絶版となっていることがわかり、レターの本紹介を「物理教育の理論と実践」に差し替えることが提案され、了承した。

- ・入試検討委員会

庶務担当副会長から、委員長が交代して組織を整備しつつこれまでの活動を継続する報告があった。高大接続を考える会については、関東地区連絡会で請け負う旨の提案があり、了承した。

- ・日本物理学会物理教育委員会

担当理事から、共催事業等についての報告があった。

- ・教科「理科」関連学会協議会 (資料 09-1~09-3)

担当理事から、2025 年度に実施したフォーラムについての報告があった。また、2026 年度に予定しているシンポジウム「資質向上のために学会は何ができるか」について、以下の通り告知があった。

期日：6 月 28 日 (日) 13:00-16:30

場所：東京大学駒場第二キャンパスを予定 (ハイブリッド形式)

内容：物理教育学会からは、今井章人理事が登壇予定

- ・男女共同参画 WG (資料 09-4)

担当理事から、女子生徒向け企画について報告があった。加えて、KEK との共催についての文書が提示され、承認した。

また、今年度の年次大会においてランチミーティングを企画するが、託児については利用者が少ないことから一旦打ち切る旨の報告があった。

- ・次世代形成 WG (資料 09-5、09-6)

総務理事から、昨年度に実施したイベント、および今年度を実施予定のイベントについての報告があった。また、国際物理オリンピック 2023 記念協会支援事業の会計についても報告があった。

- ・学会持続的発展構想 WG :

総務理事から、3ヶ月に一度開催しているミーティングについての報告があった。

また、電子システム理事から、この WG に関連して HP の改修についての報告があった。

- ・教科書検討 WG :

総務理事から、第一回の会合の内容と今後の動きについての報告があった。

(10) 支部活動報告 (資料 10-1~10-6)

- ・北海道支部 (資料 10-1)

支部長から資料に基づき、実験講習会やインフォーマルな若手の勉強会等について報告があった。

・東北支部（資料 10-2）

支部長から資料に基づき、研究大会や実験講習会、支部通信の発行等について報告があった。

・新潟支部

報告なし。

・近畿支部（資料 10-4）

支部長から資料に基づき、支部総会や大学入試問題検討会、サイエンス・フェスタ等について報告があった。近畿支部長から旧団体で準会員であった支部の会員の研究発表について質問があり、本会の会員となっただけが必要があることが確認された。

・中国四国支部（資料 10-5）

支部長から資料に基づき、ジュニアセッションの開催等について報告があった。会長から、ジュニアセッションの発表件数について質問があり、20～30件であることが報告された。

・九州支部（資料 10-6）

支部長から資料に基づき、支部総会・研究大会での STEAM 教育講演会等について報告があった。物理学会九州支部との連携強化についての課題についても報告された。

（1 1）共催・後援申請（資料 11）

総務理事から資料に基づいて報告された。

（1 2）共催・後援報告（資料 11）

総務理事から資料に基づいて報告された。報告が届いていないものに関して依頼することとした。

（1 3）入退会・減免申請

総務理事から以下の各資料について報告され、入退会・減免申請について承認した。

入会 正会員 13名 学生会員 2名（資料 13-1）

なお、1名の入会申請者から入会取消の申し出があったが、入会申請中の条件で、3月の物理学会物理教育分科会で講演を行っているとの指摘があったため、状況を確認することとした。

申請（シニア減免新規 5名、学生会員の継続 6名：資料 13-2）

退会 21名（資料 13-3）

会費未納による退会処理（資料 13-4）

2年未納（滞納退会：退会処理） 9名

1年未納（会員資格を失う者） 27名

入会のきっかけ・退会の理由について（資料 13-5）

（1 4）その他

電子システム理事から入会申込書の改訂についての提案があり、内容の順番や手書き部分についてより簡略化することとした。

以上